

今夜、なにがみえるかな 2018 春

2018年4月中旬
21時頃の星空



国立天文台 天文情報センター

4月の星空

春も落ち着きを見せてくるこの時季は北の空高くに北斗七星が見えています。この七つの星の並びは我孫子でもすぐに見つけることができるでしょう。北斗七星はおおぐま座の腰からしっぽの星々。この並びを目印に春の星座をたどることができます。おおぐま座のしっぽの星々を弧を描くように伸ばしていくと、うしかい座のアルクトゥールス。そしておとめ座のスピカが輝いています。この曲線を春の大曲線と呼びます。おとめ座は正義の女神アストレイアの姿。そして全天で2番目に大きな星座でもあります。ちなみにおおぐま座は3番目。そして南の空には1番大きなうみへび座。大きな星座たちがゆったりと広がる春の星空です。

3階ミニギャラリーにて

・春の星空紹介

4月から6月に見られる天文現象を解説したパネルを設置してあります。また南極に関するミニ企画展を不定期で行っています。開催期間中は、南半球に生息するイフトビペンギンのはく製や南極の石。また昔の航海士が使い、星座にもなっている八分儀や六分儀の実物を展示しています。

プラネタリウムのご案内

■一般投影 (土・日・祝日) 各回約20分・50名まで

●テーマ番組「南十字星の見える空」

4月22日 10・13・15時～

オーストラリアや南極で見られる星空などを紹介します。南半球ではどんな星空がみえるのでしょうか。

●テーマ番組 リニューアル1周年「プラネタリウムで時空旅行」

4月28日から上映開始 10・13・15時～

デジタル式プラネタリウムは、時間や空間を超えて星空を再現することができます。月から見た光景や、ピラミッドが作られた頃の星の並びなど、普段絶対に見ることのできない星空を見に出かけましょう。

●星空解説「今夜なにがみえるかな？」11・14・16時～
2018年春の星空を説明します。

■春休み特別投影

4/2 (月)、4/3 (火) 14時～星空解説、15時～テーマ番組

■団体投影 (平日) 各回50名まで

10名以上の団体はプラネタリウムを貸し切って投影をお楽しみいただけます。(2日前迄に予約)

入場料：100円(中学生以下は無料)

電話：04-7184-0555